

会期 | 2019年 7月20日 [土] — 9月29日 [日]

時間 | 10:00—17:00 [最終入場16:30] 休館日 | 月曜日 [祝日の場合は閉館、翌平日休館]

会場 | 金津創作の森 アートコア

主催 | (公財)金津創作の森財団

共催 | あわら市、あわら市教育委員会、福井新聞社、福井テレビ

# 蜷 蜷 川 川 宏 実 手 花 展

写真とキルトが生み出す極彩色の世界

©mika ninagawa, Courtesy of Tomio Koyama Gallery

後援 | 福井県、(公財)福井県文化振興事業団、北國新聞社、北日本新聞社、FM福井、福井ケーブルテレビ・さかいケーブルテレビ、  
(一社)あわら市観光協会、月刊URALA編集室、(株)金沢倶楽部 企画・協力 | ラッキースター、小山登美夫ギャラリー、東京リスマチック、東京スタジオ  
プレイガイド | 福井新聞社読者センター 観覧料 | 一般 800円(600円) | 大学生・高校生 400円(300円) | 中学生以下無料  
65歳以上、障がい者各半額 | 障がい者の介護者(当該障がい者1人につき1人)無料 ※ ( )は20人以上の団体料金  
お問い合わせ | (公財)金津創作の森財団 〒919-0806 福井県あわら市宮谷57-2-19 TEL. 0776-73-7800 <http://sosaku.jp/>

Bonjour Émotion! 「感動」は森から!



金津 創作の森  
KANAZAWA FOREST OF CREATION



写真家の枠を超え、映画監督、広告、ファッション、デザインなど、時代の先端を感じ取り、幅広い分野で精力的に活動している蜷川実花。母、蜷川宏子は、日々の生活の中から次々と作品を生み出す人気のキルト作家として知られています。実花の華やかで生命力に満ちあふれた写真と宏子のパッチワーク・キルトは、既成概念にとらわれない自由な発想から生まれるアイデアに満ちています。

艶やかな満開の花々、ため息が出るような美しさ、まばゆいばかりの極彩色。蜷川実花の鮮やかな色彩感覚は、母である蜷川宏子から受け継がれたDNAであることを二人の作品から感じとることができます。

異分野でありながら、濃厚な色彩感覚が凝縮された母と娘の作品が金津創作の森で融合する二人展をお楽しみください。



### 蜷川実花 [にながわみか] 写真家、映画監督

木村伊兵衛写真賞ほか数々受賞。映画『さくらん』[2007]、『ヘルタースケルター』[2012]監督。映像作品も多く手がける。2008年、「蜷川実花展」が全国の美術館を巡回。台北、上海などアジアを中心に大規模な個展を開催し、動員記録を大きく更新するなど人気を博し、世界的に注目を集めている。2018年熊本市現代美術館を皮切りに、個展「蜷川実花展—虚構と現実の間に—」が全国の美術館を巡回中。また、現在公開中の映画『Diner ダイナー』、『人間失格』[9月13日公開]の監督も務める。2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会理事就任。www.ninamika.com/

### 蜷川宏子 [にながわひろこ] キルト作家

女優、真山知子として俳優座の養成所、劇団青俳、現代人劇場に所属し、舞台、映画、テレビで活躍。次女出産後、女優の仕事を抑えて家事、育児に専念。かねてからの念願であったパッチワークキルトを基礎から学ぶべく、鷺沢玲子氏に師事。手芸の域を超えた、既成概念にとらわれない自由な発想から生まれる作品には定評がある。夫は演出家の故・蜷川幸雄。

関連イベント **蜷川実花・蜷川宏子オープニングトーク** [要入場整理券]

日時 | 7月20日[土] 13:00-14:00 会場 | アートコアミュージアム-2

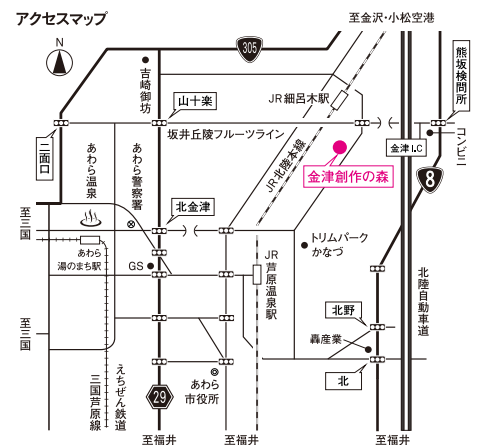
定員 | 200人 ※入場整理券の配布方法については、金津創作の森ホームページをご覧ください。

●オープニングトークの様子は、蜷川実花InstagramでLIVE配信しますのでぜひご覧ください。

※インスタライブは、諸事情により、やむを得ず中止する場合がございます。予めご了承ください。



# 蜷川実花と宏子の二人展  
# 蜷川母娘  
# 写真とキルト  
# 金津創作の森



北陸自動車道金津ICから車で約5分 JR 芦原温泉駅からタクシーで約10分

©mika ninagawa, Courtesy of Tomio Koyama Gallery